

臨床データ利用についてのお願い

兵庫県立淡路医療センターでは、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究です。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

Magnetic Resonance Cholangio Pancreat Angiography 検査時における鎮痙剤投与方法の再考 経口投与方法を採用した患者にやさしい検査の提案

2. 研究責任者

兵庫県立淡路医療センター 検査・放射線部 診療放射線技師 藤田 達也

3. 研究目的

MR 検査は呼吸や心臓の拍動、消化管の蠕動運動など、体の動きに弱い検査です。特に肝臓・胆嚢・膵臓をターゲットにした検査では消化管の蠕動運動を抑えて検査する必要があります。

一般に MR 検査時の消化管蠕動運動を抑えるためには鎮痙剤（ブチルスコポラミン臭化物（商品名：ブスコパン））を筋肉注射で投与します。

2021年2月1日から淡路医療センターでは MR 検査時のブスコパンの投与方法として筋肉注射を原則廃止とし、ブスコパン錠剤による口からの服用（経口投与）に変更しました。

MR 画像の画質改善を目的とした錠剤によるブスコパンの経口投与はまだ報告がなく具体的な検査手順が確立していません。本研究では淡路医療センターで MRCP 検査を受けられた患者さんの内、筋肉注射法と経口投与法の両方を受けた方を対象にブスコパン錠の服用から検査開始までの時間や画質への影響を調査し、ブスコパン錠の経口投与による MRCP 検査手順を確立することを目的としています。

4. 研究実施予定期間

2021年2月1日 ～ 2022年1月31日

5. 研究の概要

(1) 対象となる患者

淡路医療センターで 2021年2月1日から 2022年1月31日までの期間中に MRCP 検査を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは年齢、性別、体重、検査画像を含む MRCP に関する情報です。

(3) 方法

2021 年 2 月 1 日から淡路医療センターでブスコパン錠を服用（経口投与）して MRCP 検査を行った患者を抽出し、服用から検査開始までの時間と検査で得られた画像を調査し、ブスコパン錠を服用してから検査開始までの時間を最適化した検査手順を確立する予定です。

6. 個人情報の取り扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

7. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

8. 問い合わせ先

兵庫県立淡路医療センター 検査・放射線部 藤田 達也

〒656-0021 兵庫県洲本市塩屋 1 丁目 1-137

TEL : 0799-22-1200 FAX : 1799-24-5704